



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第113号

2013.6.15

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」の名前をつけています。

もくじ

お知らせ

- ーカワシンジュガイ探検隊について
- ー高原の自然館の館内展示について
- ー活動報告について

活動報告

- ーブナ林の野鳥観察会
- ー霧ヶ谷湿原の自然再生活動
- ー初心者への登山教室
- ー龍頭山の野鳥観察会

観察会案内

- ー霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会
- ーブッポウソウの観察会
- ー夏休み親子観察会
- ーカワシンジュガイ探検隊

お知らせ

●カワシンジュガイ探検隊のお知らせ

昨年引き続き、損保ジャパンのSaveJapanプロジェクトの支援を得て「私たちのすぐ近く、ひろしまの素敵な生き物の世界を再発見！」をテーマに観察会を実施します。今回は北広島町の天然記念物であるカワシンジュガイを探す観察会です。どんな発見があるのでしょうか？どうぞご参加ください。詳細は裏面の観察会案内をご覧ください。

●高原の自然館の館内展示のお知らせ

高原の自然館では、絶滅危惧種のカワシンジュガイと、それに産卵するアブラボテ、止水域に生息するカスミサンショウウオの他に、タカハヤ、カワムツ、ドジョウを水槽にて飼育展示しています。芸北にする生き物をゆっくりと観察してみませんか？

●活動報告について

5月18日に行われた「大潰山の春植物観察会」の活動報告は、都合により次号にて報告させていただきます。

観 察 会 報 告

● ブナ林の野鳥観察会

開催日時：2013年5月19日（日）5:00

講師：上野吉雄

まだうす暗い早朝5時に、14名の参加者が臥竜山の雪霊水前に集合しました。鳥の専門家である、上野先生が講師です。

雨が降りそうな天候の上、気温が低い時間帯なので、鳥は活動していないだろう・・・と思ったら、にぎやかなミソサザイの鳴き声が私たちを迎えてくれました。

ミソサザイは名前の通り、「味噌」の色をした小さな野鳥で、鳴き声が早口で高い声でさえずり、一度聞いたら覚えやすいような気がします。この観察会が実施された3時間の間、どの場所でもミソサザイのさえずりを聞くことができました。

みなさんお待ちかねのアカショウビンのさえずりも聞こえたので、しばらく観察していましたが、残念ながら姿を見つけることはできませんでした。

車道を歩き進みながら、上野先生の解説を聞きました。参加者の方から、「トビくらいの大きい鳥がいた！」との声があがり、みんなで見ていると、確かに大きめの鳥が翼をひろげ、木の間をぬうように飛んでいました！中型の猛禽類のオオタカでした。オオタカは開けた山野に生息し、ハトなどをえさにしているそうです。一瞬でしたが、観察できたのでとても幸運でした。

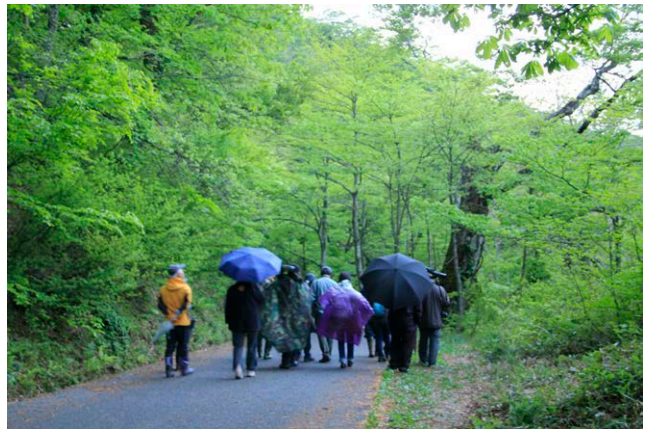
観察した場所は臥竜山の8合目あたりで、車道沿いの林床はササがほとんどなく、クロツグミなどの大型ツグミにとってはミミズなどがよく捕とれるとのことでした。

ミミズをえさにしているクロツグミもいました。フィールドスコープでクロツグミを見ると、黒い体に黄色いくちばし、アイリング（目のまわりのふちどり）が可愛らしく、参加者は何度も覗き込んだり、写真を撮ったりして、観察を楽しみました。

他にも、短い鳴き声の特徴的なクロジ、おなじみのウグイスやヤマガラ、最近増えている特定外来生物のソウシチョウなど、全部で21種類の野鳥を確認しました。

参加者の方から、「昔はおみくじ引きのヤマガラがいた」という話を聞きました。鳥と人間の関わりが興味深かったです。こういったお話を聞けるのも、観察会の醍醐味です。

今回も早朝のブナ林で野鳥を楽しむことができました。[このやよい]



例年のごとく雨ではじまる観察会となった。



鳴き声が聞こえるものの、姿を捉えるには根気が必要。



ブナの葉の上で見つけたムシコブ。きれいなピンク色だった。



車道沿いにウスギヨウラクの花がきれいに咲いていた。



フィールドスコープと携帯電話のカメラを組み合わせ、撮影にトライ。



キツツキの仲間が開けたと思われる穴。

【みなさんの印象に残った物】

「鳥の姿が少ないものの、声を聞くが出来て良かった。特にクロジのさえずりがめずらしい」「虫こぶ(3)」「クロジがよく見れた」「アカショウビンの鳴き声が近くて感動」「木の穴から顔を出したミソサザイ」「雨」「ホトトギスの声を初聴したこと」「クロツグミをしっかりと見られた」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「雨と思ったが、以外に天候良く、見晴らしがきき良い観察会でした。でも終了時はやっぱり雨！でも良かった」「人数が多いと山の探鳥会はむずかしいことが多いですが、よく鳥が出ました」「楽しかった」「葉がたくさんでていて、みえにくかったかな」「アカショウビンが見れなくて残念！」「雨もまたたのし」「寒いし、雨でしたが、クロジのさえずりが聞けたのがよかったです」「色々な鳥の声が聞くことができて楽しかった」「アカショウビンは声のみ、残念」

観 察 会 報 告

● 霧ヶ谷湿原の自然再生活動

開催日時：2013年6月1日（土）9:30

広島県では6月の第一日曜日を「山の日」とし、森林や山をよくしていく運動のきっかけづくりとして、この日に広島県内の各会場で、山の手入れなど実体感型の多彩なプログラムを取り入れたひろしま「山の日」県民の集いを行なっています。

ここ八幡高原会場は、私たち西中国山地自然史研究会と日本山岳会広島支部が協力し、霧ヶ谷湿原の整備プログラムを準備しました。

霧ヶ谷湿原は、広島県の自然再生事業により2009年に工事が完了しました。その後は導水路での水の管理で、自然な状態での維持管理を保ってきました。しかし、水が行き渡らず森林化している箇所もあり、専門家のアドバイスも受け、低木の伐採を行い整備をすることとしました。

広島県山岳連盟による登山道整備の参加者と一緒に開会式を行い、「山の日宣言」もされ、作業前の注意事項もしっかりと聞きました。

その後、機械班は現地に直行し、作業手順を打ち合せを行い、作業を開始しました。手作業班は白川学芸員による自然再生事業の趣旨・目的の説明を受けながら湿原の観察コースを歩き、現地に徒歩で移動しました。

初めて会った方もいれば、顔なじみの方もいます。わいわいと作業をすることで連帯感も生まれます。汗を流す作業はとても気持ちよかったです。今回の作業により、中央部分にあるやぶに覆われた湿地も見えるようになり、参加者は整備の手応えを感じていました。

心配されていた雨にもあわず、作業後の達成感あふれた気持ちで閉会式に参加しました。

この日をきっかけに、霧ヶ谷湿原を始め、八幡高原の山や自然に愛着を持っていただければと感じました。[このやよい]



開会式の前に皆でストレッチ。



ケガをしないよう、適度に休憩をとりながら、作業しよう。



今回整備する霧ヶ谷湿原の下流域。低木が茂り、森林化が進んでいる。



一足早く現地に入った機械班. 十分に間隔をとって作業を進める.



軽トラに積まれた木は、別の場所へ運んで一ヶ所に集めた.



時間を置いてから現地に入る手作業班は、白川学芸員と湿原を歩き、整備活動の趣旨などを聞いた.



動いた後のご飯は格別. 午後も頑張ろう!



切った木をビニールシートに乗せ、力を合わせて軽トラへと運ぶ.



きれいに整備された場所で記念撮影. お疲れ様でした.

観 察 会 報 告

● 初心者のための登山教室～高岳に登ろう～

開催日時：2013年6月2日（日）10:00

講師：日本山岳会広島支部

ひろしま「山の日」県民の集いの八幡高原会場で、初心者のための登山教室が行われました。霧雨が降る中、21名の参加者が山麓庵に集合して、今回の講師をされる日本山岳会広島支部のメンバーの紹介や日程のお話がありました。今回登る高岳は、急斜面が少なく、頂上までの距離も短いため、これから登山を始められる方にも向いていることや、山の中での歩き方などを説明していただきました。

その後、高岳の登山道入口まで車で移動して、準備運動を終えるとよいよ登山開始です。列の前後と中央に講師が入り。ペースの調整や休憩の合図、急斜面などのすべりやすい場所では一旦止まって声を掛けるなど、ゆっくりと登りました。途中の休憩時間を利用して、山を歩く際の呼吸の取り方を教わりました。呼吸を乱さないくらいのペースで歩くこと、乱れた時はまずはしっかりと吐き出すと自然と吸えること、歩くリズムに合わせて呼吸をすると良いことなどを解説されました。

休憩を終えてしばらく登ると頂上につきました。頂上は整備されて開けた場所になっていました。講師の方が「ここは毎年山岳会が整備をしていて、少しずつ展望を良くしている。今日はあいにくの天気だが、天気の良い日は聖湖と臥竜山、恐羅漢、聖山などを見渡すことができますよ」と、話されました。

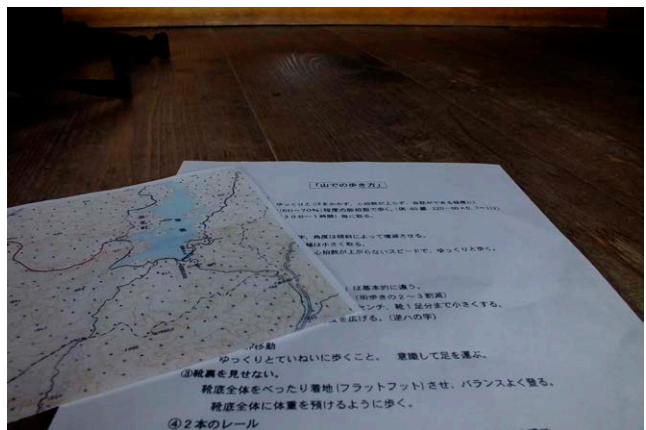
昼食を取り、一息ついた後は、下山を始めます。下山の前にストックの講習を受けました。「ストックを上手に使うと、足にかかる負荷の分散とバランス取り、滑り止めを兼ねることができ、特に下山が楽になります」と、ストックを使った歩き方を見せていただきました。

山を下って登山口に着き、クールダウンをして現地での解散となりました。

一緒に登った参加者と意気投合できたり、今日教わったことを活かしてまた山に登ってみようと、新鮮な発見ができた登山教室となりました。[ありみつまさかず]



今回講師をされる日本山岳会広島支部のメンバーの紹介。



配られた資料。高岳までのルートと、山での歩き方などが載っていた。



登山道の入口ではヤブデマリが咲いていた。



1列になって高岳を登る。この頃には雨がやんでいた。



1輪だけ咲いていたヤマボウシ。頂上では満開のものもあった。



休憩中、資料を見ながら歩き方の講習。現地にいるのですぐ実践できた。



頂上に到着。臥竜山や恐羅漢などがどの方向にあるか教えてもらった。



歩くリズムに合わせて呼吸をしやすいことを聞いた



登頂記念にみんなでパシャリ。

観 察 会 報 告

● 龍頭山の野鳥観察会

開催日時：2013年6月9日（日）6:00

講師：上野吉雄

雲がかかった涼しい気温の中、龍頭山の野鳥観察会が行われました。豊平どんぐり村に17名が集合し、講師の上野先生のお話を聞いたあと、車で龍頭山の登山道入口に移動しました。

移動してすぐ、キビタキを見つけました。木の上で動かずにさえずりをしていたため、フィールドスコープを使って、じっくりと観察することができました。近くにある電線の上には、エサをくわえたシジュウカラが止まっています。電線の途中にコケがはみ出している箇所があり、そこに営巣していることがわかりました。樹木ではなく電柱に営巣した方が、天敵の1種であるヘビに襲われにくいことを上野先生が話されました。

観察を続けていると「キョロロロ・・・」とさえずりが聞こえてきました。アカショウビンです。辺りを見回していると、山から山へと飛ぶ姿を見ることができました。山の中腹の開けた場所では落鳥したホオジロを発見しました。抱卵斑（ほうらんはん）があり尾羽がとがっていたため、メスの若鳥だと、上野先生が解説されました。

引き返して山を下りている途中、「シシシシ・・・」と、虫の鳴き声のような尻上がりのさえずりが聞こえました。これは、ヤブサメという鳥のさえずりで、つがいになれなかったオスが、他のつがいの子育てを手伝うという変わった習性があるということを知りました。

駐車場まで戻り、近くにある溜め池に向かいます。溜め池の近くでは、2羽のサンコウチョウが縄張りを主張するように、お互いにさえずり合っていました。姿は見られませんでした。長い時間、美しい鳴き声を楽しませてくれました。

観察会の終了後も引き続き観察をされる方もおり、時間を忘れて、野鳥の魅力堪能できた観察会となりました。【ありみつまさかず】



ホオジロが枝先に止まっていた。



登山道に咲いていたコアジサイ。



落鳥していたホオジロのメス。近くでは、つがいと思われる個体が、こちらを見ていた。



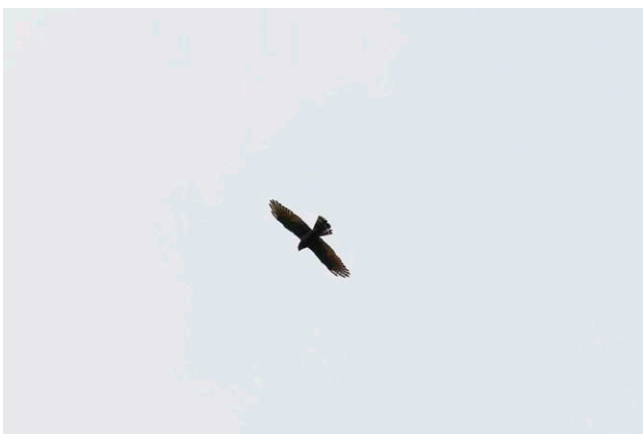
降りる途中で見つけたクワの実。真っ黒になったら熟した証拠。



集合して、確認された鳥の種類を話し合った。



溜め池の周りではサンコウチョウや、アカショウビンのさえずりが聞こえる。



空を飛んでいるサシバ。観察会終了後に姿を見せた。

【みなさんの印象に残った物】

「ヤブサメの鳴き声」「ホオジロの体の細かい説明」「サンコウチョウの鳴き声が聞こえた事(2)」「キビタキの黄色がとってもきれい(4)」「サシバ」「アカショウビンの飛翔(3)と、モリアオガエル、シュレーゲルとの違い(2)」「上野先生の解説」「キビタキ、ゆっくり見せて頂きました(3)」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「ホオジロ♀落鳥残念ですが、ホオジロを見ながら色々ご説明を頂きとても勉強になりました」「多くの鳥のなき声がゆっくり聞けて楽しかった(2)」「サンコウチョウが見えそうで見えなかったのが残念(2)」「鳥の鳴き声ですぐに名前がわかってよかった」「30種類もの確認に驚き」「多くの野鳥が里山にいるものだと感じた(2)」「上野さん、白川さんのお話がとても面白く興味深かったです(2)」「アカショウビン2回も飛ぶのが見えてうれしかった」「鳥だけでなくカエルや植物まで観察でき有意義でした(3)」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会

開催日時：2013年6月29日(土) 9:30

集合場所：高原の自然館

講師：大竹邦暁・佐久間智子・松田賢

準備：基本セット、虫かご

定員数：30名

参加費：一般=300円

賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

霧ヶ谷湿原をまわり、夏の生き物を観察します。昆虫と植物の密接な関係や、花の名前の由来など個性豊かな講師陣がみなさんを案内します。しっかり観察できるようにルーペや図鑑、観察用の虫かごなどもお忘れなく！

● ブッポウソウの観察会

開催日時：2013年7月15日(月・祝) 9:30

集合場所：芸北文化ホール

講師：上野吉雄・松田賢

準備：基本セット、双眼鏡・あればフィールドスコープ

定員数：30名

参加費：一般=300円

賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

絶滅危惧種であるブッポウソウの観察会です。室内で生態についての説明を聞き、巣箱を設置してある場所へ移動して観察します。この時期は育雛期にあたり、巣箱の中の雛に親鳥が餌を運ぶ姿を見ることができます。親鳥を驚かせないように、見守りながら観察しましょう。

自然館の中で、毎朝、最初にやるのが、長袖のシャツの腕まくりだと気付いて、夏が近づいているんだな、と感じています。外を歩いてみると、カキツバタやカンボク、ヤマボウシやレンゲツツジなどが咲いています。自然館ではカワシンジュガイの展示を始めました。新しい仲間と一緒に皆さんをお待ちしています。(ありみつ)

● 夏休み親子観察会

開催日時：2013年7月21日(日) 9:30

集合場所：高原の自然館

講師：岩見潤治・佐久間智子・内藤順一

対象：小学生の子どもとその保護者

準備：基本セット、川遊びのできる服装着替え、タオル

定員数：親子20組

参加費：子ども100円

湿原再生事業が行われた霧ヶ谷湿原の中央を流れる川で水生昆虫を観察します。川に入って採集し、同じ形をした仲間ごとに分類します。川の中には小さな生き物がたくさん！夏休みの川遊びがより楽しくなるかもしれません。

● カワシンジュガイ探検隊

開催日時：2013年7月28日(日) 9:30

集合場所：芸北文化ホール

講師：内藤順一

準備：基本セット、水の中に入れる服装
ゴーグル・あればシュノーケル

定員数：30名

参加費：無料

※今回はSaveJapanの支援を受け実施します。

北広島町の天然記念物であるカワシンジュガイを探る観察会です。支流でカワシンジュガイを観察した後、水中メガネを付けて、水の中をのぞきながらカワシンジュガイやアブラボテをさがします。上流域で、水もきれいなので、川遊びにもなります。子供さんには必ず保護者が付き添ってください。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info